

令和5年度4月教育委員会 会議録

開催日時	令和5年4月28日（金） 15:00～17:00	
開催場所	早島町町民総合会館 2階 集会室	
出席者	委員	白神敬祐教育長、栗坂祐子委員、綾野克紀委員、市橋晃委員、岡本善弘委員
	事務局	猪木浩二学校教育課長、吉見一成生涯学習課長、貝原丈雄課長補佐、藤井夏樹主任
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 教育長あいさつ 職員自己紹介 2 協議 <ol style="list-style-type: none"> (1) 早島町教育委員会が保有する個人情報の保護等に関する規則の制定について (2) 令和5年度の教育施策の概要について (3) その他 <ul style="list-style-type: none"> ・全国、県学力・学習状況調査（4/18・20（中3英語・話すこと）） ・早島町立図書館利用統計報告 3 連絡 4 閉会 	
会議資料		
傍聴者	なし	
会議録作成者	藤井 夏樹	

会議内容

<p>1 開会</p> <p>教育長あいさつ</p> <p>白神教育長：お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。</p> <p>昨年度は色々ご理解ご協力等を頂きまして教育委員会の事業等が前に進むことができたのかなと思い感謝申し上げます。5月になると、毎年クールビズが始まり、8日にはコロナが5類に移行となり、11日から10日間、春の交通安全県民運動があります。</p> <p>何点かお話させていただきます。まず1点目、3月の教育委員会では、学校教育課と生涯学習課を統合するということでしたが、結局は町長がそれを取り</p>
--

下げたということで、現在も2課体制を維持した状況です。学校教育課には、学校給食の公会計化等に伴いまして、臨時の職員が1名配置されています。一方、生涯学習課は、中央公民館長、町民総合会館長は課長が今までも兼ねていたのですが、併せて今年度は図書館長も課長が兼ねるということで、生涯学習課には課長補佐が置かれない状態で、実質2名減で今年度がスタートしました。生涯学習課と学校教育課でより一層協力をして行事等をやっていかないといけないと思っています。

2点目は、当初予算の件です。今年度の当初予算につきましては、3月の定例会で否決となりまして、3月30日に臨時会が開かれ、3か月分の暫定予算は可決されていまして、教育委員会関係では特に支障がないと聞いております。5月9日、10日に臨時会が開かれて、そこで今年度の当初予算が審議をされて決定されるのではないかと考えております。

3点目は、学校園の様子と言うことで、学校園の方は3月末の人事異動で、4月になり今年度は11日の午前中に小学校、午後中学校の入学式、12日に幼稚園の入園式を行いました。1日のうちに小中学校の入学式を実施したのは初めてかもしれません。幼稚園は新しい園長先生もこられておりまして、新しいスタッフで新学期がスタートしております。小中の入学式でもマスクの着用を求めないという方針で実施しましたが、実際に行ってみると、ほとんどの子供たちがマスクをしている状況でした。希望に満ちた子供たちの姿を見ると、今後の健やかな成長について教育の重大さを改めて認識しました。

18日には、全国及び岡山県の学力学習状況調査が行われ、今回から英語の話すことが調査項目に加わります。結果の公表は従来通りで行くとだいたい7月の終わりくらいかなと思いますが、詳細はまた後でご説明いたします。

中学校は校外学習が立て続けに行われており、3年生が水曜日から今日まで東京方面に修学旅行。2年生が昨日、日帰りで広島研修。1年生は火曜、水曜と閑谷学校で宿泊研修を実施しました。

次に、今年度は令和6年度使用の小学校の教科書の採択の年になっています。早島町は倉敷地区に属し、5市町で共同採択になっています。それぞれの地区で教科書の調査研究や選定、採択が夏までに行われる予定です。

また、今年度の教育問題懇談会が火曜日にZOOMで行われました。冒頭の鍵本教育長の言葉で印象に残っているのは「地域にへき地あれども教育にへき地なからしめん」これは、吹屋小学校の額縁の中にあった言葉で、吹屋はへき地かもしれないけど、他と同じように教育もやっていかなきゃいかんという意気込みを表した言葉だそうです。

会議内の教職員課の資料では、1つは「不祥事防止」で、昨年度は不祥事の場合が2件あり、繰り返し不祥事防止を徹底していくということ、2つ目が

「働き方改革」の資料で、ブラックと言われている教員世界ですが、行事の思い切った厳選の実施、コロナ禍で行事が縮小したものを最低限必要なものの他は戻すことなく、思い切ってスリムにしないといけないということや、ICTを活用することで、先生方がしっかり子供に向き合う時間を確保できる部分もあるのではないかとということがありました。

高校教育課の資料では、免許更新制が今年度からなくなり、教員の研修履歴をしっかりと残すということに変わりましたが、なかなか校長が教職員と面談をする中で、どんな研修を受けたらいいというアドバイスをすることは難しいことなのかなと思いました。

特別支援教育課の資料では、特別支援学級の割合が岡山県は多いということで、全国は3.7なのに岡山県は5.4で早島町も多いです。市町村の教育委員会で支援学級の入級を認定するので、厳しく認定しているところもある。県教委としてはそういうのを抑えて欲しいという意向を感じました。

人権教育生徒指導課の資料では、不登校対策で心の居場所推進プロジェクトというものが行われ、早島中学校も別室支援に一人教員がつかまりました。

そういった会議がありましたのでご報告いたしました。

今日も慎重にご審議をして頂き、今年度も皆様方のご理解とご協力を頂きまして無事に進めて参りたいと思います。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

2 協議

(1) 早島町教育委員会が保有する個人情報の保護等に関する規則の制定について

【資料説明】

白神教育長：ご質問はありますか。

規則につきましては御承認頂いたということによろしいですか。

(2) 令和5年度の教育施策の概要について

白神教育長：2月の教育委員会で説明した時に欠けていたのを追加した箇所だけ説明します。1ページに目次が付きました。3ページに、3月13日に行われた教育委員会の部分がありました。4ページ、②3月4日の第7回はやしま子どもフォーラムがありました。22ページ、第5次早島町総合計画の評価項目についての令和4年度部分に数字が入っています。3年度と比べてみるとほとんど数字や回数が増えている。コロナで落ち込んでいた部分が少し復活してきた部分もあるのかなと思っています。23ページ～24ページにかけての中山先生からのご意見を追加しました。変更・追加点は以上です。

令和5年度教育施策の概要について、公務の情報化による教員の事務負担の軽減等を図るということで、中学校に続き小学校も出欠連絡をフォームでできるようになり、電話をする人もいますが、電話を掛けることなく連絡が出来るようになりました。今年度は幼稚園も始めました。電話が朝たくさん掛かっていたのが減って集計もすぐ出来、一目で確認できるようになっております。

セキュリティソフト導入による家庭学習の充実ですが、予算が付いたのでタブレット持ち帰り学習を進めようと考えています。

特別支援学級担任専門性向上事業については、岡山県下で早島町だけが受けました。今年初めてなので先生方にも徐々に理解して頂いて進めていきます。

I C Tに関して学校情報化認定という制度があり、早島小学校が令和4年10月に、早島中学校が令和5年の3月に優良校の認定を受けました。認定をいただくと、その年度を含めて3年間有効なので、期限が切れたらまた申請する予定です。

本年度の目標と言うことで、ビジョンとI C Tと個別支援の3つがあります。ビジョンでは、ユニバーサルデザインや特別支援学級担任専門性向上事業や非認知能力や夢育や安全安心不登校対策などを含めて9つのグループを作っています。そこへ保幼小中の先生が割り振って入っています。

I C Tでは、タブレットドリルやオンライン会議やG S u i t eの使用をしています。フィルタリングソフトを導入して持ち帰り学習の推進もする予定です。

個別の支援教育では、教育ソフト「L I T A L I C O」を使い、支援学級の子や配慮が必要な子について、個別の支援計画は出来ているけど、更に充実をはかっていきます。

学力について、小学校は全国より少し悪いけれど、学年としてみると良くなっている科目もあります。小学校は頑張っていないといけない。中学校は勉強時間が少な目になっていますが比較的成績は良いと思っています。特徴的なのは11ページ、はやしま学の、英検・漢検・数検に参加する児童生徒ですが、早島町は英検を1回は応援制度でということで、それを使って受ける子供の数が年々増えており、昨年度は121名、その前は92名。増加に繋がっていると思います。

15ページの2つ目、部活動の地域意向を見据えた環境等の整備に関する事業で宮山グラウンドを改修し総合型スポーツクラブやファジアーノ岡山と連携を考えています。

17ページ、図書館では昨年度16歳から89歳の町民800人にアンケートをお願いし、263名から回収が出来ました。32.9%の回答率でその結果を分析していきます。

18ページ、各種イベント等の取組ですが、昨年度の成果や課題などを基に、今年度国や県の事業を使いながらこのようなことを進めていきたいなと思います。

綾野委員：そうやって発展していくんだろうなと思います。決して連携は悪いことではないと思う。

また、全体的に大きな目標があるのはいいと思うのですが、一般的な企業だと5年間等の中期計画があり、それをもとに今年はこちらですという流れがあるから説明しやすいと思うし、達成率も信憑性がある。そこをもう少し改善したらよいと思います。

栗坂委員：ICTはキーワードになってくるのかなと説明を聞きながら思いました。子ども達への教育の中でも、先生方の働き方の改善、特別支援教育を推進していく上で有効に使われていくと成果につながるのかなと思います。

5ページの初任者指導について早島の実況はどうなのかを聞きたい。

白神教育長：初任者の指導は、早島町と総社市が一緒にしています。県教委は不登校等に入力して人を増やしています。初任者は教育センターでも研修もあるし、学校でもそれぞれするから、その辺は少し薄めになっているかもしれないです。

市橋委員：子供たちが今年からドリルをする為だけにタブレットを持って帰っている。今までドリルは紙だったのがタブレットに代わった。タブレットは重たいので、その為だけに持って帰っている現状だけを見ると荷物を減らすのと逆行し、ランドセルの中が重くなって帰ってきている。今はこの段階だが、将来はこのようになっていくというビジョンが見えていたら親として疑問も少ないと思うが、実際聞く話ではwifiが繋がらないとか、パスワードがわからなくて開けないなど上手く出来ていない家庭もあると思う。

1年生の児童数150人を見てビックリしました。まだまだ増えていくんですか。

猪木課長：参考に、上の表の住基人口を見ると1歳0歳が減っています。

白神教育長：ICTを使ってという時代はやってくるので、普段から慣れ親しむことは必要だと思う。フィルタリングソフトを導入してタブレットを持ち帰ったのなら、ドリル以外にも取り入れていきたいと思う。今年度はとりあえず持ち帰ることを昨年度の課題にしたが、持ち帰ってからどうするのかを検討していきたいと思っています。

猪木課長：教室確保については今後も考えていかなければいけないと思っています。

白神教育長：貴重なご意見をありがとうございました。

(3) その他

・全国、県学力・学習状況調査【資料説明】

・早島町立図書館利用統計報告【資料説明】

3 連絡

猪木課長：今後の行事の予定はレジュメのとおりです。次回は5月26日15時からです。
本日はありがとうございました。

4 閉会